

News Letter

平成 27 年 10 月 16 日発行 vol.3

障がい者の笑顔と
障がい福祉に関わる仲間たち



大分市 古代周(ふるしろあまね)さん

- 大分市下郡の古代周さんは別府支援学校高等部2年生。11月の第35回大分国際車いすマラソン大会のハーフマラソンに初めてエントリーしました。
- 3歳の時の転落事故で脊髄損傷となりましたが、小学校3年生から車いすバスケや陸上競技に挑戦してきました。アジアユースパラ競技大会マレーシア2013では、200mなどで金メダルを獲得しています。
- 今年はハーフで1時間10分を切るという目標を立て、朝練習と週3日のバスケに加え、土・日はお母様に送迎されて田ノ浦周辺でマラソン用トレーニングを続けています。担任の引田先生は、「いつも前向きで生徒会長も務める頑張り屋さん」と評します。
- 卒業後はレース用車いすの製造に関わる仕事に就いて、働きながらトレーニングを続け、2020年の東京オリンピックで活躍したいと意気盛んです。
- お気に入りのマンガは、車いすバスケに打ち込む若者を描いて文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞を受賞した「リアル」。超お勧めだそうですよ。

児童発達支援センター ひばり園 園長 緒方幸子さん

- 社会福祉法人別府発達医療センターの「ひばり園」は主として、集団行動がうまくとれないなど発達が気になる子どもたちの生活習慣の確立や対人関係の育成、集団参加能力の向上等を目指して、親子通園などにより、発達支援や保護者支援を行っています。
- 園長の緒方幸子さんは日田市出身で、小学生の時に見た映画「しいのみ学園」の感動を忘れずに養護学校教諭となり、小中学校に加え、養護学校(支援学校)に26年間勤務した障がい児教育のスペシャリスト。適切な療育を早期に行うことによって、子どもたちの“生きづらさ”を軽減しようと、常に全力投球です。
- 関係者の資質向上のため、今年「未来はばたきネット」を立ち上げて研修会を企画しました。第3回は12月13日(日)10時~12時、長崎大学の岩永竜一郎准教授を招いて「発達が気になる子どもの感覚と行動について」講演していただきます。詳しくは、ひばり園 0977-26-2887 にお問い合わせください。



発行元: 大分県障害福祉課 〒870-8501 大分市大手町3-1-1 a12500@pref.oita.lg.jp FAX:097-506-1740
TEL: 計画・スポーツ班 097-506-2723 地域生活支援班 097-506-2725 自立支援班 097-506-2731
障害児支援班 097-506-2745 精神保健福祉班 097-506-2733 障がい者体育協会 097-533-6006

大分県障害福祉課からのお知らせ

障がい者の笑顔と障がい福祉に関わる仲間を紹介する News Letter を発刊しました。

県内で生き生きと暮らす障がい当事者や、活躍している支援者・サービス事業所を、障がい種別や居住市町村を越えて紹介し、各種情報を周知することにより、障がい福祉の見える化を図ることを目的としています。当分の間、毎月作成して、県障害福祉課で登録している各事業所のメールアドレス宛てに送信し、県庁ホームページにも掲載します。

■紹介する障がい者・支援者や事業所を募集します■

①今後紹介する障がい者、②今後紹介する支援者又は事業所を募集します。

メール、FAX 等で大分県障害福祉課へお寄せください。News Letter へのご意見もお待ちしております。

■障がい者虐待防止にご協力ください —地域生活支援班—

障害者虐待防止法では、障がい者への虐待を、①養護者によるもの、②障害者福祉施設従事者等によるもの、③使用者によるものの3つに分類しています。大分県内では昨年度、②に関する通報は13件でした。「叩く・殴る」はもちろん、「暴言・無視」、「わいせつ」、「お金を渡さない・取り上げる」などは虐待であり、通報は義務です。見たり、聞いたり、相談されたら市町村障害者虐待防止センター又は下記にご連絡ください。

大分県障害者権利擁護センター(大分県障害福祉課) 電話 097-506-2728

■障がい者の絵画等を展示する「ときめき作品展」が11月に開催されます —地域生活支援班—

障がいのある方の作品展「ときめき作品展」(入場無料)が大分市高砂町 iichiko 総合文化センター1階のアトリウムプラザで開催されます。絵画・陶芸・書道・工芸・写真など、既成概念に捉われないのびのびとした発想で描き出された力作が300点以上並びます。お誘い合わせの上ご来場ください。

※ 11月26日(木)~11月30日(月)10:00~17:00 (30日は12:00まで) iichiko アトリウムプラザ

■県立精神科設置に向けて検討してまいります —精神保健福祉班—

県では、精神疾患のために緊急な治療が必要な方々に対応する県立精神科の設置に向けて、具体的な検討を始めました。10月14日(木)に、県精神科病院協会などの医療機関関係者や精神障がい者家族会等の代表者にお集まりいただき、第1回県立精神科基本構想検討委員会を開催しました。今後、持つべき診療機能や役割、規模、病床数、開設場所などについて検討・協議を行ってまいります。

■第35回大分国際車いすマラソン大会の見どころ —大分県障がい者体育協会—

11月8日(日)に大分国際車いすマラソン大会を開催します。19カ国から283選手が出場し、11時に県庁前をスタート(ハーフは11:03スタート)、大分市営陸上競技場のフィニッシュを目指します。今回は賞金額の大幅な引き上げや、来年のリオデジャネイロパラリンピックの日本代表選考レースに指定されたことなどから、男子は2014世界ランキング1位のエレンスト・ヴァン・ダイク選手(南アフリカ)をはじめ、世界ランキング10位以内の選手が8人出場します。また女子も世界ランキング1位から3位までの選手が出場します。国内外のトップアスリートたちによる世界最高峰の戦いを、沿道で是非ご覧ください。

発行元: 大分県障害福祉課 〒870-8501 大分市大手町3-1-1 a12500@pref.oita.lg.jp FAX:097-506-1740
TEL: 計画・スポーツ班 097-506-2723 地域生活支援班 097-506-2725 自立支援班 097-506-2731
障害児支援班 097-506-2745 精神保健福祉班 097-506-2733 障がい者体育協会 097-533-6006